1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1･2･3･5･6･7の日発行）2017年5月21日発行SSKP通巻6615号

SSKP

はれのちくもり

第86号

ピアス通信別冊第13号

はれのちくもり別冊ピアス通信では、就労移行支援事業所ピアスの訓練やイベントを中心に、
多摩棕櫚亭協会の「働く」ことに関する情報を皆様に発信していきたいと思っております。

棕櫚亭３０周年記念パーティー開催のご報告

昨年、棕櫚亭は開所から30年を迎えたことを記念して、4月23日（日）立川グランドホテルにて記念イベントを開催しました。130名近くの方々にご出席頂き、盛大なものとなりました。内容は二部構成でお送りし、日頃お世話になっている皆さんに、楽しんでいただける企画にいたしました。

第一部「天野聖子　最終講演」

ここでは天野前理事長に今まで語る事がなかった、精神病院時代の15年間を語って頂きました。今から45年前、精神障害者の人権なんてないに等しい頃、収容所の様な病院とどのように闘ってきたのかをお話しして頂いたのですが、天野さんの口調は、いつもの力強いそれとは違い、当時の思いを一言一言噛みしめる様なものでした。さらに格闘の末、病院の開放化に成功しても、まだまだ精神障害者が地域で当たり前に暮らしていくには程遠い現実、それとの更なる闘いが、棕櫚亭開所につながっていった事も改めて知りました。

第二部「棕櫚亭３０周年記念パーティー」

第二部のパーティーは三幕で構成し、1987年の開所から現在までを振り返りました。

まず一幕目は「同窓会」と銘打って、創設世代の職員3人が舞台に上がり、出会いから作業所開所、そして法人化までの出来事を、当時お世話になった方々へのインタビューを交えながら振り返りました。本当にたくさんの人達に支えられながらここまで来た事を、改めて感じた一幕でした。そして二幕目ではピアスを開所し、就労支援に試行錯誤してきた次の10年間にスポットを当ててお送りしました。「当事者のちから」と題したコーナーを設け、オープナー登録者と棕櫚亭ピアススタッフが自分たちの体験や棕櫚亭との出会いなどを語りましたが、その言葉の数々に会場は深い感動に包まれていました。最後の三幕目では、棕櫚亭がこの１０年間取り組んできた組織継承についてのご報告をし、職員一同で挨拶をさせて頂きました。日頃から棕櫚亭を温かく見守ってきてくださった皆さんに見守られながらの継承となり、「棕櫚亭って愛されているんだなぁ・・・」と改めて実感しながら、これからもそうある組織でなければならないと強く思った瞬間でした。

会の最後は職員・元職員・メンバーよるバンド「ゆるさ」の演奏と共にエンドロールが流れ、拍手と共に会場は一体感に包まれていきました。皆さん口々に「楽しかった！」「棕櫚亭らしい会だったよ～」とお褒めの言葉をかけて頂きました。棕櫚亭をより良いものにしようと走り続けた創設者達のエネルギーと、それを温かく見守ってきた方々の愛情を大事に持ち続けながら、さらに走り続けます。これからもどうぞ棕櫚亭をよろしくお願いいたします。

理事長　小林　由美子（ホームページより抜粋）

天野聖子 前理事長　インタビュー　前編

天野聖子前理事長の退職にあたり、ピアスについて語ってもらいました。
話の内容がもりだくさんなので、前編と後編に分けてお送りします。

次号もお楽しみに！

（聞き手：ピアスメンバーM）

Q. 理事長退任にあたって今の心境を教えて下さい。退職してから楽しみたいこと、新たにチャレンジしたいことはありますか？

やっと終わったという感じでほっとしているのよね。みんなに会えなくなるのは寂しいけど、５年前から準備をしていたことで無事に次の人にバトンを渡せるので、理事長を辞めるのは嬉しくてしょうがない。

退職してからは自由にしたいかな。仕事一色で普通の暮らしをしてなかったので、当たり前の生活を送ってみたい。今までやっていたジムを続けたり、英会話、ガーデニング、手の込んだ料理をしたり、いろんな所へ行ってみたい。それで多分飽きると思うので、それから次のことは落ち着いてから考えたいかな。そんな中でも、15年精神科病院で働き、30年棕櫚亭で働いたことも含めて、ショックを受けたこと、原点などの歴史について今までの経験も活かして、書くことをしてみたいかな。

Q. ピアスの名前の由来や、込められた想いがあれば教えて下さい。

精神科で働いていた時に、働きたいと思っている人が多く、価値観を変えたくて、決めたらやるしかないと棕櫚亭を立ち上げたの。その後、世の中の偏見を変えるという想いから、おしゃれに風穴をあけるという意味も込めてピアスを立ち上げたんだよね。

Q. ピアスの創立から今に至るまでどのような変化がありましたか？特に、今と創立当時とで大きく違う点があれば教えて下さい。

最初は3つの作業所を作り、その後にピアスを作ったの。その時は、みんなできれいな所で働ける場にしようと思っていたのだけど、『ずっといられる。ずっといたい。』という意識になってしまい、就職に結びつかないでしょ？それで最初の3年目でこれではいけないと思い、小林さんをアメリカに送って勉強してもらったの。卒業というゴールを作ることでずっとここにいられるという意識をなくしたくて、利用期限をあえて設けることにしたの。

（後編に続く…。）

東京グリーンシステムズ株式会社へ企業見学に行きました！

就労プログラムの一環で、東京都多摩市にある情報サービス業ＳＣＳＫ株式会社の特例子会社、東京グリーンシステムズ株式会社に行ってきましたので、簡単にご紹介します。

（ピアスメンバー　K）

仕事内容

9：00～17：30（実働7.5時間）

庭園管理、農業、清掃、レストラン（厨房、接客）、事務、などなど…

障害別割合

身体障害者39名

知的障害者26名

精神障害者38名　(2016年1月現在)

会社が行っている配慮

社内ジョブコーチが仕事の組み立てや定着支援を行なっていて、体調面や精神面に負担をかけないよう業務配分の配慮をしている。

会社の良い所

色々な作業があったので、自分の適性に合った仕事に取り組むことができる。

採用にあたって重視するポイント

働く意欲やマナー身だしなみ、協調性などの社会性を重要視している。

感想

企業見学に行ってみて仕事の話を聞いたり、実際に働いている人の様子を見たりして働くことへのイメージができました。

1977年12月3日第三種郵便物認可（毎月1･2･3･5･6･7の日発行）2017年5月21日発行SSKP通巻6615号

お知らせ

◆ 5月19日　長谷川病院DCの方々が見学にいらっしゃいました。ピアスメンバーが資料の準備から当日のご案内、説明を担当しました。当日ご案内をした、DC卒業生であるメンバーの成長ぶりを見て驚かれているDCのスタッフ・利用者の方が印象的でした。

◆ 障害者就業・生活支援センターオープナーでは、近隣の病院や作業所等に向けて出前講座を行っていますが、今回ピアスの職員が根岸病院DCに伺い、ピアスの説明をしてきました。出前講座についてはホームページでもご紹介しておりますので、是非ごらんください。

◆ 5月26日、就労プログラムにて、ピアスOBの方お２人に来てもらい、お話しを伺いました。苦労や葛藤もありながら今に至り、働き続けている先輩が語る姿はとても頼もしく、それぞれの心に響いたのではないでしょうか。詳しい内容をホームページ、または紙面でご紹介できればと思います。

編集後記

- インタビューは緊張しましたが、天野さんの貴重なお話を聞けて、いろんなことを学べました。(T.M)
- 久しぶりのピアス通信発行となりました。今年度もよろしくお願いします。ちなみに最近はピアス緑化計画を進めています…。(K.O)

次号紙面内容

- 天野前理事長インタビュー　後編
- ピアスOB　アンケート

など…

7月中旬の発行を予定しています。

お楽しみに！

法人ウェブサイトでは最新の情報をお届けしています。

⇒　**www.shuro.jp**

『棕櫚亭』で検索！

【編集】国立市富士見台1-17-4
社会福祉法人　多摩棕櫚亭協会
就労移行支援事業所ピアス内
はれのちくもり編集委員会
Tel 042-575-5911
【発行】特定非営利活動法人
障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 世田谷区祖師谷3-1-17-102
Tel 03-6277-9611
【定価】100円